

バルツァ・ゴードル実習受入基準

当院では、ご利用者様へのワクチン接種が済み次第、以下の基準により病院実習の受け入れを行います。

1. 養成施設（学校）が病院実習を中止している場合は、受け入れできません。
2. 病院実習の予定者が、発熱等の症状がある場合は受入できません。
3. 上記1～2に該当しない場合は、以下の対応により、病院実習・インターンシップを受け入れます。
 - ① 実習開始日前2週間の体調確認を行い、37.5度以上の発熱又は風邪症状があった場合は、施設に相談し受け入れの可否を判断する。
 - ② 実習当日は、来院前に自宅で検温を行わせることとし、37.5度以上の発熱又は風邪症状がある場合は、その日の実習は中止とし、病状軽快から24時間経過するまでは自宅待機とする。
 - ③ 来院後実習を開始する前に、各部署で検温及び体調確認を行い、37.5度以上の発熱又は風邪症状がある場合は、その日の実習は中止とし、病状軽快から24時間経過するまでは自宅待機とする。
※正面玄関で健康チェックを受けていただきますので、ご協力ください
※気になる症状がある場合は事前にお申し出ください
 - ④ 実習開始後、発熱等体調の変化があった場合は、その時点でその日の実習は中止とし、病状軽快から24時間経過するまでは自宅待機とする。
4. その他、受入ルールについて
 - ① 実習等の際は、手洗いおよび手指消毒の徹底、サージカルマスク（布マスク、ウレタンマスクは不可）の着用、ソーシャル・ディスタンスの確保などにご協力願います。
 - ② 特に、昼食時などの際も適切な距離を保つとともに、会話等は最小限に止めてください。
 - ③ その他、医療職または医療職志望者であるという高い意識をもった行動に努めてください。
 - ④ 1週間以内の実習での病棟間移動は原則行いません。

2023.5.8

